

2010年10月24日 主日礼拝

司 会 ①坪井師 ②衛藤兄 ③当麻兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②久保田兄

「3つの愛」

賛 美 聖歌630番 (主はみ座におられる)

聖 書 ① 使徒行伝 13章16～22節
②③ テサロニケ人への第一の手紙2章17～20節

音 楽 ① 新撰組
②③ 学生会S・クワイアー

メッセージ ① 「神の心になつた人」 柴田順一副牧師
②③ 「古典的ラブコール“逢いたいなア”」
大川従道牧師

賛 美 聖歌229番 (献金)
頌 栄 「それ神は」(700番)
祝 禱

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」
(Iテサロニケ五の十六、十八)

【大和ニュース】

- ・ 今日楽しい「秋バザー」。みんなで協力、充実バザー!!お互いご挨拶忘れずに!
 - ・ 本日「洗礼準備会」(9時)。その他はバザーに合流。(役員会は2時)。
 - * 大和市の『キャンドルナイト』駅前広場にて。夕方6時15分。ご一緒に! スゴイ!
 - ・ 今週も祈禱会を大切に! 説教は坪井永城副牧師と大川牧師。(昼食後ルツ会)
 - ・ 転入会式 ①曾山望兄(ヨシュア) ②曾山喜子姉(エステル)・はんなちゃんと光嘉(みか)くん。
 - ・ 福音礼拝は火曜昼2時半から。説教は倉知契副牧師。
 - ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時から。説教は森屋幹伝道師。
 - ・ 週末礼拝は、土曜夜6時～6時59分。説教は倉知契副牧師と大川師。
- ◎ 『こども秋まつり』土曜朝9時半～11時。泉チャペル駐車場にて。

石の枕

「私は信じる。病気は私たちにどこかの戸を開きうる鍵だと。私は信じる。どこかに戸があって、病気だけがただ一つ、それを開きうるのだと。いずれにせよ。健康状態では理解するわけにいかないものがあるのだ。恐らくは病気は私たちにいくらかの真理を教えるものなのだろう」

これはアンドレ・ジッドの言葉です。病むと必ず直面させられる不安と恐れと孤独感、これらを超えて人間の尊厳を深め行く人によってハッとさせられることは多いのです。

病むことは一方で、「死の予行」(パスカル)と言われます。病床で人は多少でも死を考えて、病むというマイナスをプラスに変えて深く生きるきっかけを得るのではないのでしょうか。病床はその意味で人間にとって貴重な学校と言えるかもしれません。(教団出版局・「心に残るE話」より)

ヘーと思わせられる句を紹介します。「病床・主に在りて健(県)在」。

神経痛は大分県・痛みはだんだん広島県
これではどうにも神奈川県・どうやら見通し長崎県
痛みはなかなか山口県・とうとう薬は鳥取県
もうどうにも奈良県・こんな病気は秋田県・身も心も岩手県
しかし神は愛なり愛知県・恵みは高し高知県
ひめ(婦人会)に愛され愛媛県・やっぱり病も徳島県

———どうですか、こいうの。病むことも大切なのは神に委ねたあとのユーモアの心なのですなえ。

先日北海道から来られて受洗されたK兄姉がお手紙を下された。

色紙を頂戴いたしました。「常に喜べ、絶えず祈れ、すべての事に感謝せよ」

わかっているようでも 祈るは身勝手な事ばかり

うまく行かんと 愚痴こぼす これでいいのか?と又祈る

こんな毎日でも変えられているからこそ、元気でたのしく日送りができます。本当に有難うございます。献金送ります。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース: I テモテ4章～II テモテ4章 Bコース: I エレミヤ11章～エレミヤ28章